

次の100年も・・・ここに商工会!!

●第123回(平成21年度第4回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成22年 1月～ 3月・報告

平成22年 4月～ 6月・予想



栃木県商工会連合会

目次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況DI推移を比較 ・ 図1	
県内産業別の業況DI推移を比較 ・ ・ 図2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・・・ 図3
売上額(加工高)の状況	・・・ 図4
採算(経常利益)の状況	・・・ 図5
設備投資の状況	・・・ 図6
経営上の問題点	・・・ 図7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・・・ 図8
売上額(完成工事高)の状況	・・・ 図9
採算(経常利益)の状況	・・・ 図10
設備投資の状況	・・・ 図11
経営上の問題点	・・・ 図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・・・ 図13
売上額の状況	・・・ 図14
採算(経常利益)の状況	・・・ 図15
設備投資の状況	・・・ 図16
経営上の問題点	・・・ 図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・・・ 図18
売上額(収入高)の状況	・・・ 図19
採算(経常利益)の状況	・・・ 図20
設備投資の状況	・・・ 図21
経営上の問題点	・・・ 図22
6. 調査対象事業所の内容	16
参考 中小企業基盤整備機構 第119回 中小企業景況調査 ニュースリリース	
[中小企業の業況判断DIの推移]	17

○DI指数とは

本文中やグラフ中に登場するDI値とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

例えば、売上額で増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%の場合、DI指数は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを表している。

[調 査 要 領]

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置して、地域の産業の状況等地域の経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を収集、提供して、経営改善普及事業の実施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

にのみや・国分寺・大平町・岩舟町・塩谷町

高根沢町・那須烏山・那須町・佐野市あそ・足利市坂西

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数： 150企業（回答率100.0%）

○調査時点

平成22年3月1日

○調査対象期間

平成22年1月～3月期の実績及び、平成22年4月～6月期の見通しについて調査。

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査。

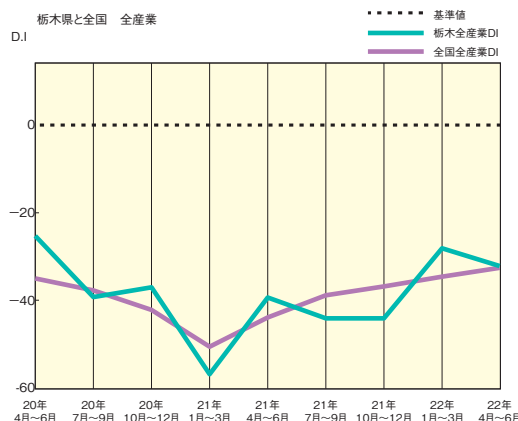
○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	34	22.7
建 設 業	26	17.3
小 売 業	48	32.0
サ ー ビ ス 業	42	28.0
合 計	150	100.0%

1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「全国業況は引き続き持ち直しの動き、栃木県も大きくマイナス幅が縮小し持ち直しの動きが見られる」（前期比季調済） 図 1



全国業況においては、緩やかながら引き続き持ち直しの動きがみられる。

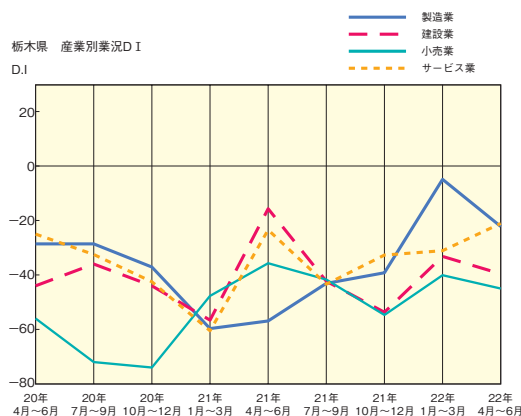
栃木県内の業況は製造業を中心に、持ち直しの動きが見られ、全国に比べ大きく好転（マイナス幅が縮小）した。なお、栃木県内の業況D I は、-27.8ポイントと前期（-43.6ポイント）と比べ15.8ポイント好転、全国業況（-36.4ポイント → -34.2ポイント）は、2.2ポイント上昇している。

来期見通し（4月～6月）では、栃木県業況はやや悪化（マイナス幅が拡大）し、全国業況は5期連続となる好転を予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれ調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「製造業に改善の動き、その他の業種は弱い動き」（前年同期比） 図 2



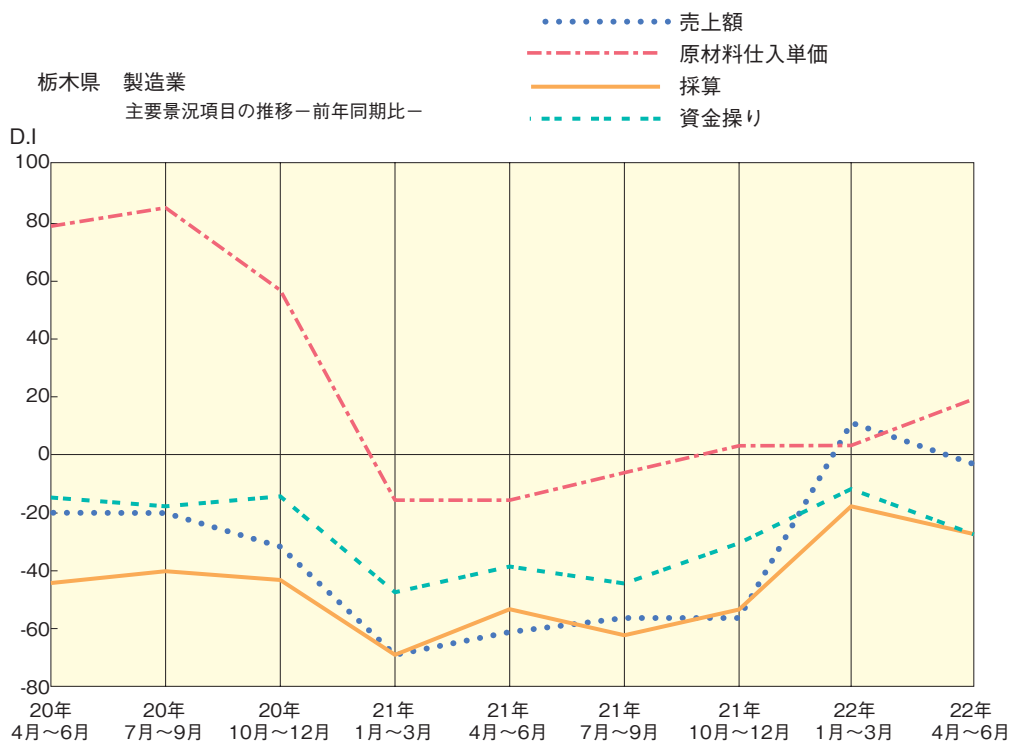
「製造業」前期比+34.3ポイント、4期連続で上昇（マイナス幅が縮小）しており、改善の動きが見られる。一方、「建設業・小売業・サービス業」では、D I 値は上昇しているものの弱い動きであり、依然として厳しい状況にある。

2. 製造業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上額のD I 値がプラスに転じる（H19.1～3期以来）」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



「売上額(加工高)」は、前期から大きく増加し、D I 値は11.7ポイントと平成19年1～3月期調査以来、プラスに転じた。また合わせて「採算(経常利益)」+35.3ポイント(-53.0ポイント→-17.7ポイント)、「資金繰り」+18.5ポイント(-30.3ポイント→-11.8ポイント)とともに好転しており、経営改善の動きが見られる。なお「原材料仕入単価」は、横ばいとなっている。(3.0ポイント→3.1ポイント)

来期見通しでは「売上額(加工高)」は減少、「採算(経常利益)」は悪化を予想している。

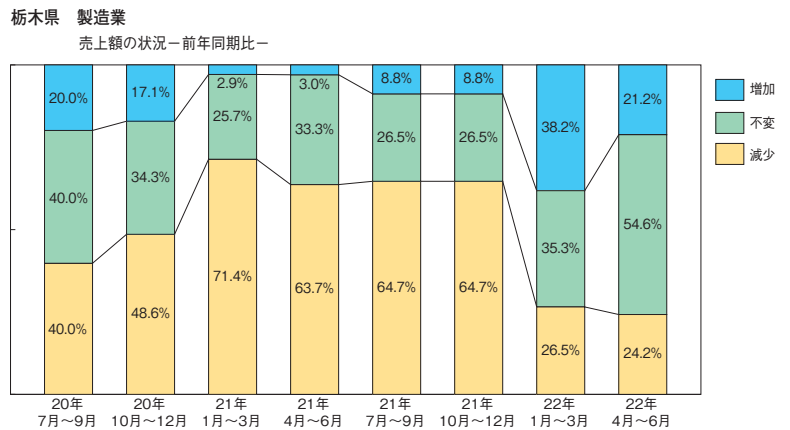
「原材料仕入単価」は大きく上昇すると予想している。

－売上額(加工高)－

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が26.5%、増加企業が38.2%で、D I 値は11.7ポイントと大きく増加した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が減るものの(26.5%→24.2%)、売上増加企業も減り(38.2%→21.2%)、D I 値は低下するとみている。

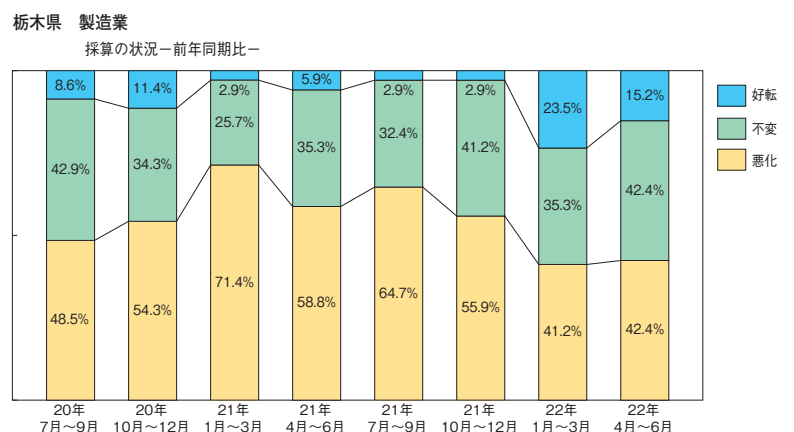


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が41.2%、好転企業が23.5%で、D I 値は-17.7ポイントであった。前期と比べ、好転企業が大きく増加した。(2.9%→23.5%)

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業がやや増え(41.2%→42.4%)、採算好転が減り(23.5%→15.2%) D I 値は低下(-17.7ポイント→-27.2ポイント)するとみている。

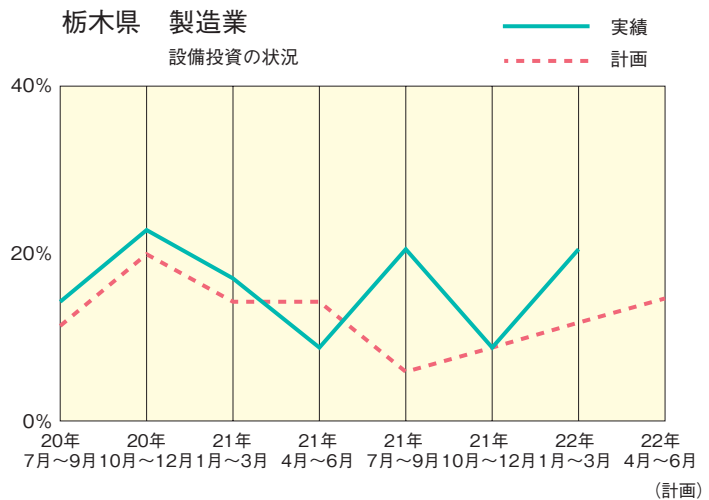


―設備投資の状況―

設備投資の状況 図6

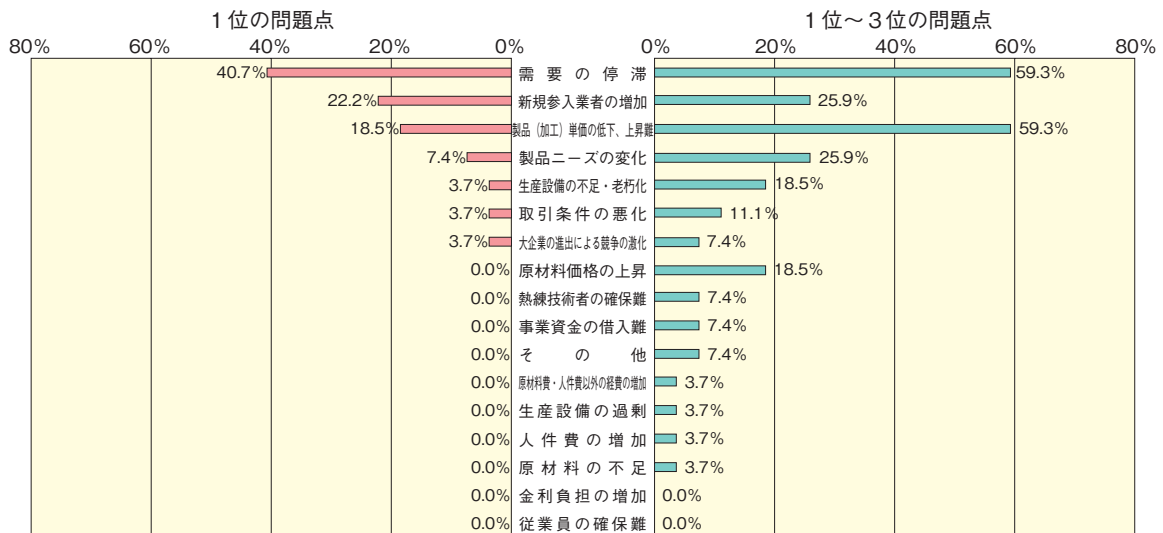
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合11.8%に対し、実績は20.6%となった。

来期に設備投資を計画している企業は14.7%である。



―経営上の問題点―

栃木県 製造業 経営上の問題点の状況 図7



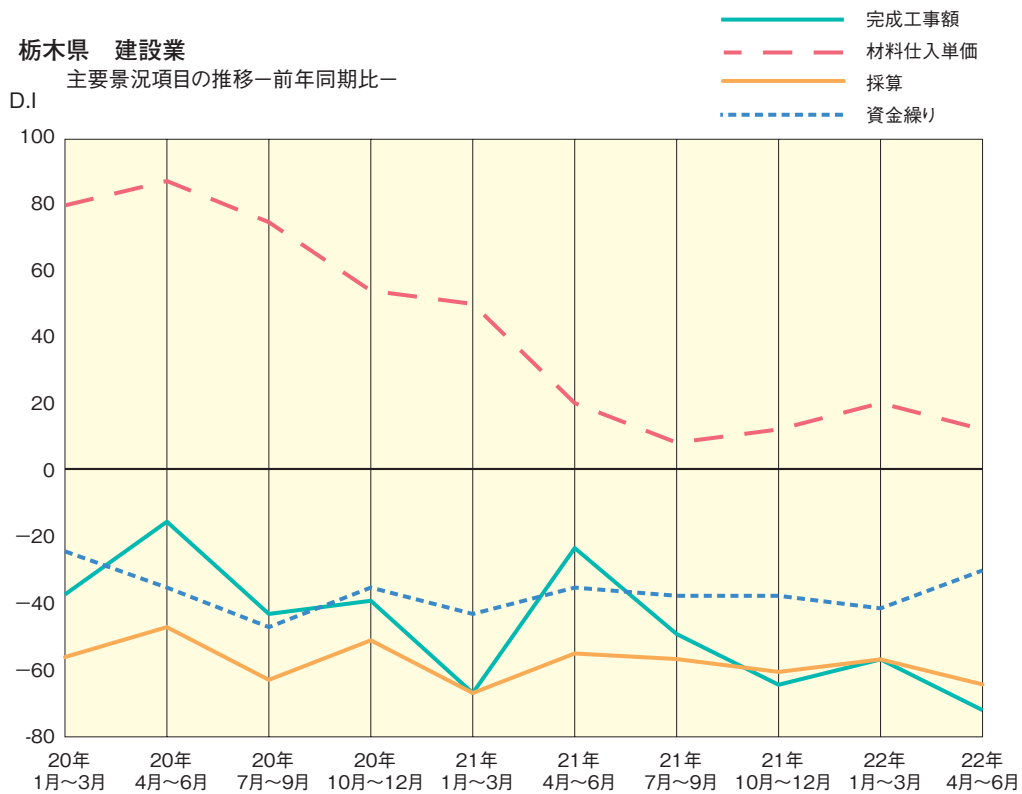
1位の問題点では「需要の停滞」が最も多い。また、「製品（加工）単価の低下」が1位～3位のトップであり、需要は戻りつつあるものの厳しい受注を強いられていることが伺われる。

3. 建設業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上額」「完成工事額」がやや増加

建設業 主要項目の推移（前年同期比） 図8



「売上額(完成工事額)」は前期比+7.7ポイント(-65.5ポイント→-57.8ポイント)、「採算(経常利益)」は前期比+3.8ポイント(-61.6ポイント→-57.8ポイント)、ともに3期ぶりにD I 値の低下が止まった。一方「資金繰り」は悪化(-3.8ポイント)している。

来期見通し(D I 値)では「売上額(完成工事額)」「採算(経常利益)」ともにやや低下の予想であり、非常に厳しい状況が伺える。

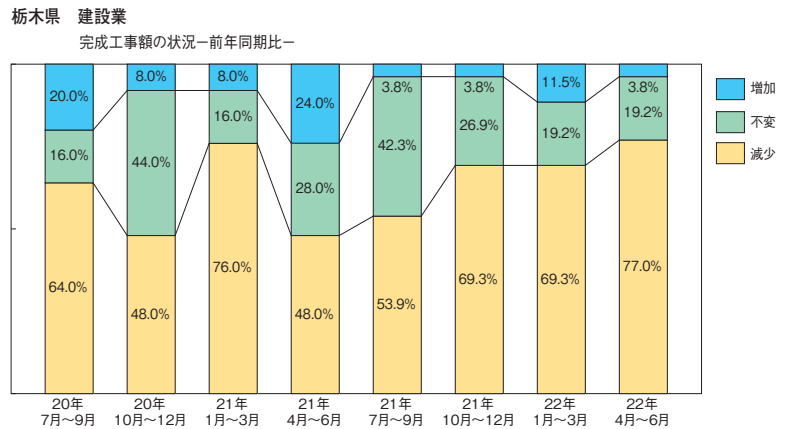
「原材料仕入単価」「資金繰り」はやや低下と予想している。

—売上額(完成工事高)—

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が69.3%、増加企業が11.5%で、D I 値は-57.8ポイントであった。前期と比べ(+7.7ポイント)増加した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が増え(69.3%→77.0%)、売上増加と予想する企業は減り(11.5%→3.8%)ことから、D I 値は低下するとみている。

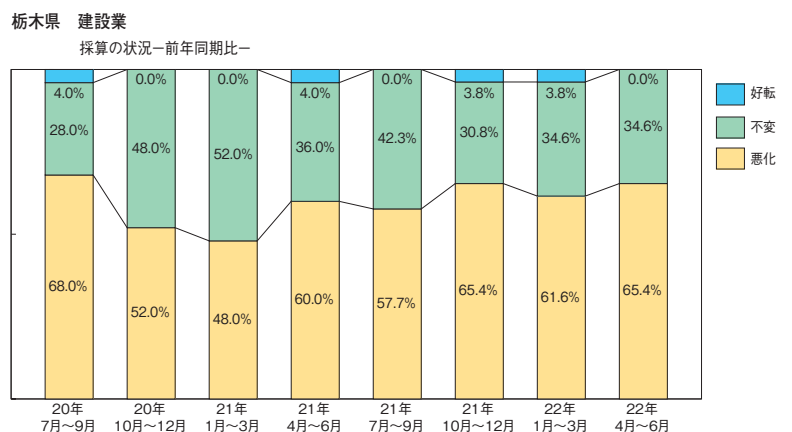


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が61.6%、好転企業が3.8%で、D I 値は-57.8ポイントであった。前期と比べ(+3.8ポイント)上昇した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が増え(61.6%→65.4%)、D I 値は低下(前期比-7.6ポイント)するとみているが、好転する企業は、0.0%の見込み。

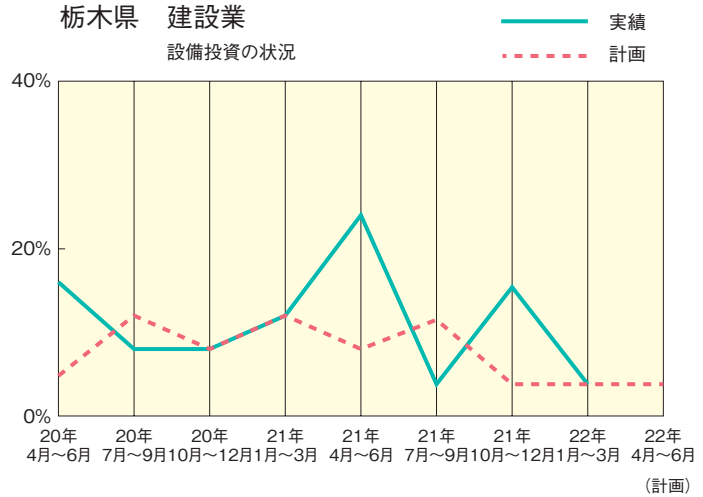


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図11

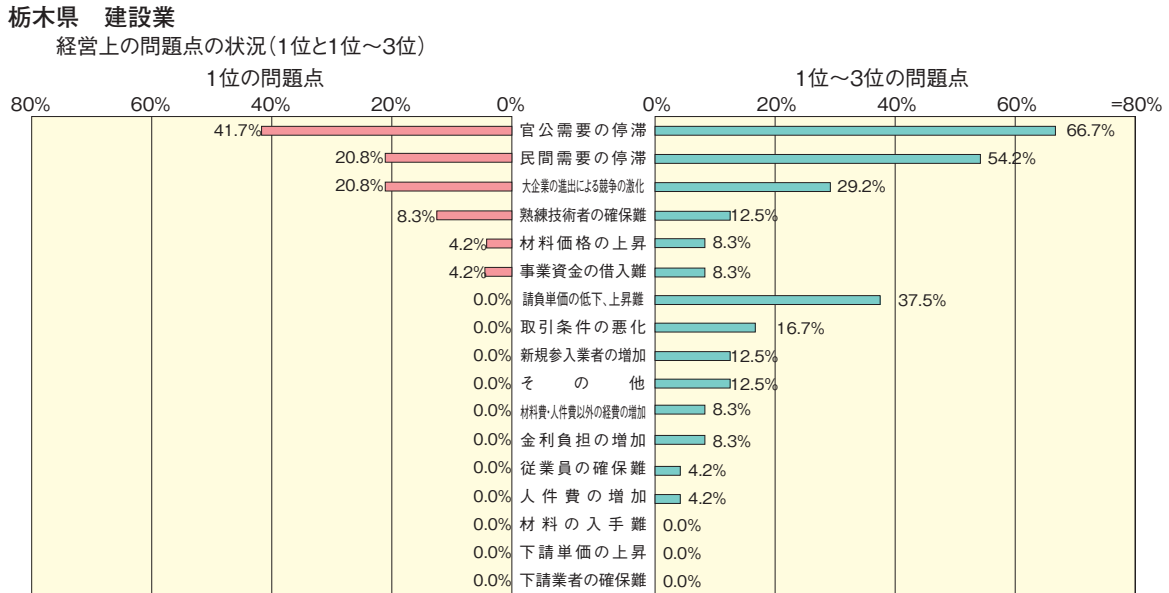
今期の設備投資の状況は、計画していた企業が3.8%、実績は3.8%であった。

来期に設備投資を計画している企業は3.8%である。



—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図12



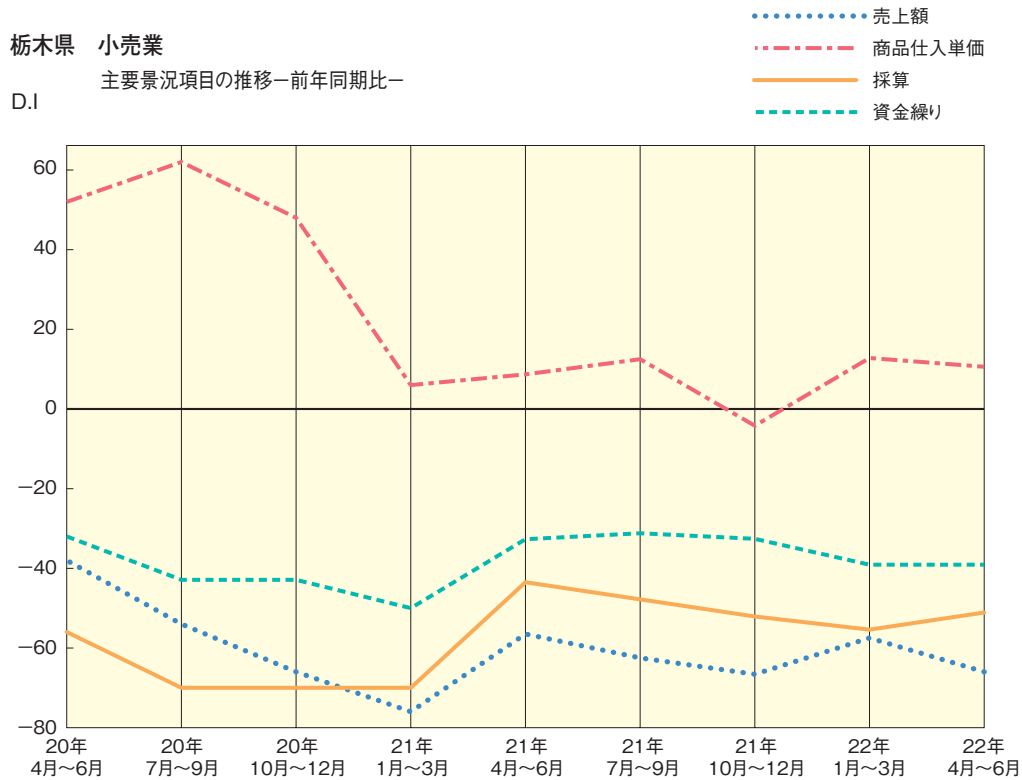
1位の問題点をを見ると「官公需の停滞」が最も多く、1位～3位の問題点見てもトップに挙げら66.7%となっている。そのほか「民間需要の停滞、大企業の進出による競争の激化、」が上位に挙げられている。

4. 小売業の景況

—主要景況項目の推移—

「採算・資金繰りが3期連続低下」

小売業 主要項目の推移（前年同期比） 図13



「売上額」は前期比+9.1ポイントとやや増加した。「採算(経常利益)」(-52.1ポイント→-55.4ポイント)、「資金繰り」(-32.6ポイント→-39.1ポイント)と悪化、3期連続の低下となり、依然として厳しい状況が続いている。

来期見通し(DI値)では、「採算(経常利益)」はやや好転するが、「売上額」「資金繰り」は悪化すると予想している。

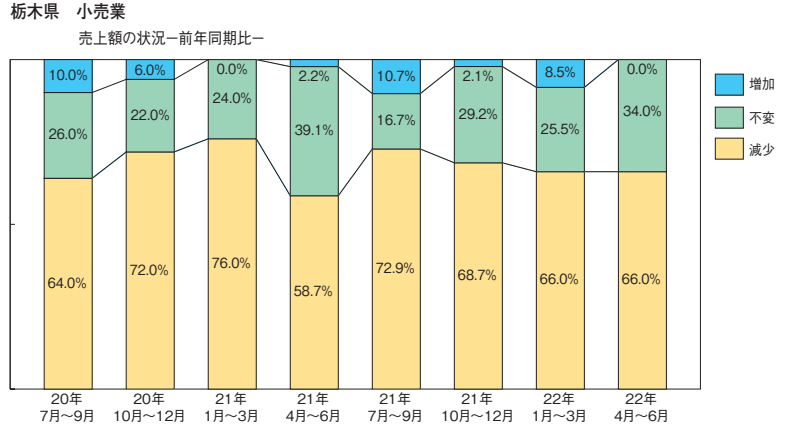
「商品仕入単価」は上昇しており(+17.0ポイント)、来期見通しでも同水準と予想している。

—売上額—

売上額の状況（前年同期比）図14

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が66.0%、増加企業が8.5%で、D I 値は-57.5ポイントであった。前期と比べ、上昇（+9.1ポイント）した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業は同数であるが（66.0%→66.0%）、売上増加と予想する企業が0.0%となることからD I 値は低下（前期比-8.5ポイント）とみている。

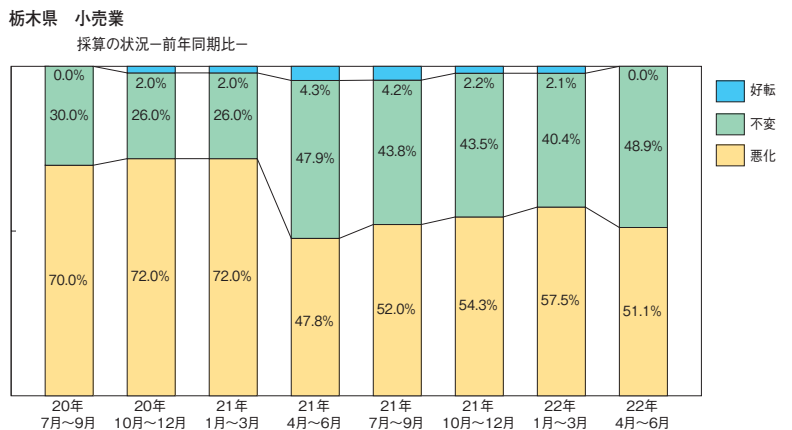


—採算（経常利益）—

採算（経常利益）の状況（前年同期比）図15

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が57.5%、好転企業が2.1%で、D I 値は-55.4ポイントであった。前期と比べ、低下（-3.3ポイント）した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業がやや減ることから（57.5%→51.1%）、やや上昇するとみている。なお好転企業は0.0%である。

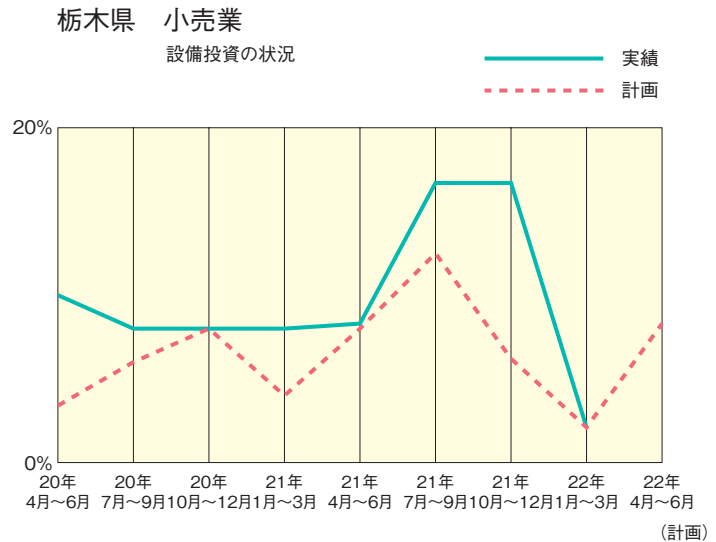


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図16

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合2.1%に対し、実施割合は2.1%であった。

来期に設備投資を計画している企業は8.3%である。

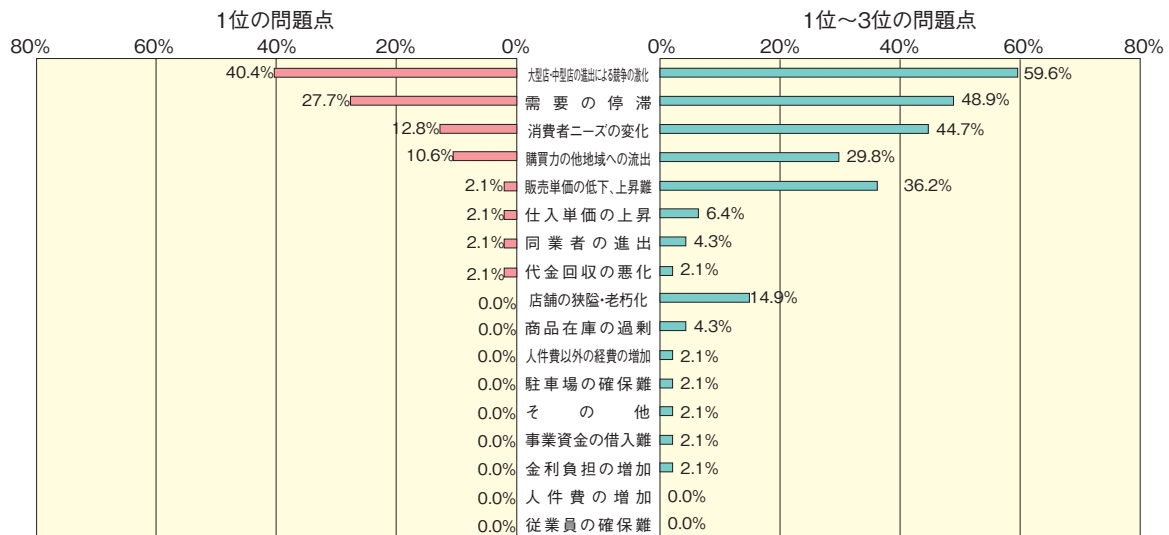


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図17

栃木県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



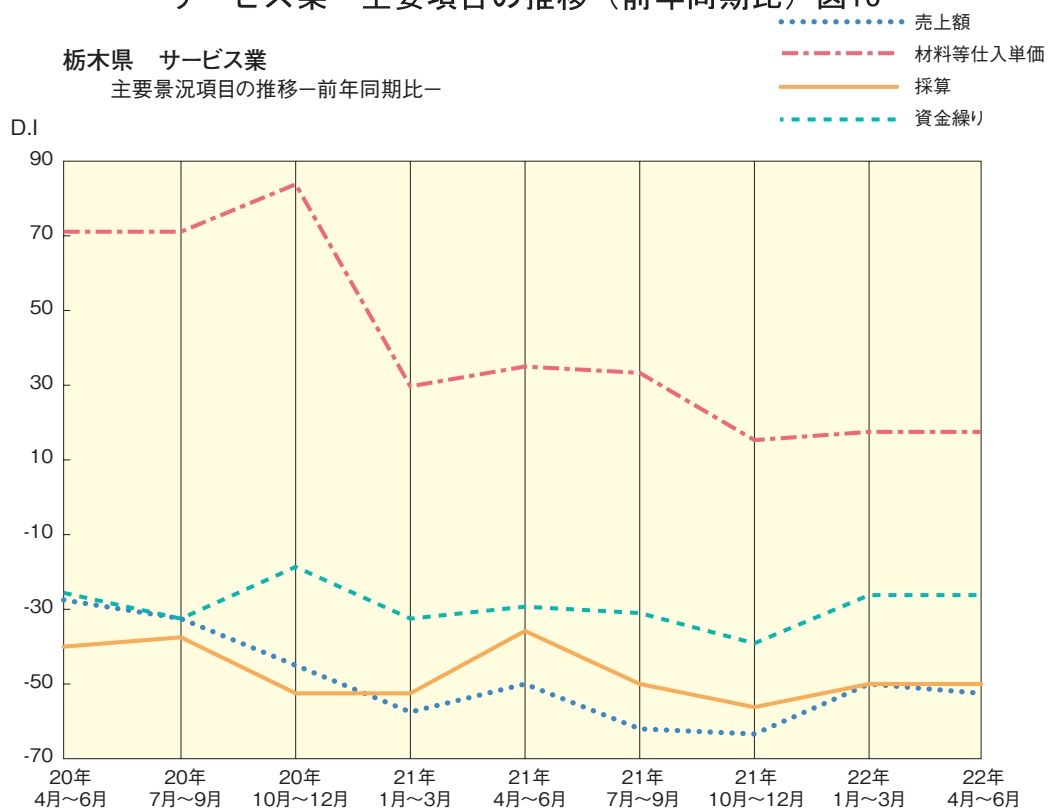
1位～3位の問題点を見ると、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が最も多く、1位の問題点を見てもトップに挙げられ40.4%となっている。そのほか「需要の停滞、消費者ニーズの変化、購買力の他地域への流出」が続いている。

5. サービス業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上額・採算・資金繰りのD I 値が3期ぶりに上昇」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比）図18



「売上額(収入高)」(前期比+13.4ポイント)、「採算(経常利益)」(前期比+6.2ポイント)、「資金繰り」(前期比+12.9ポイント)はD I 値が3期ぶりの上昇となった。

来期見通し(D I 値)では、「売上額」「採算」「資金繰り」ともに同水準と予想している。

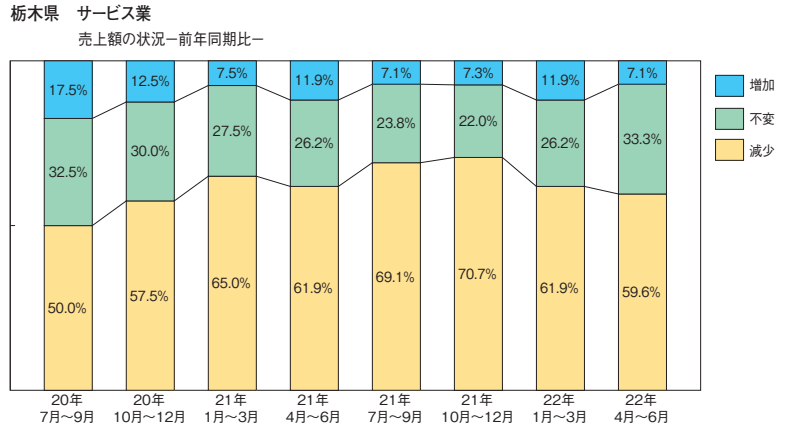
「仕入単価(材料等)」はやや上昇(前期比+2.2ポイント)し、来期見通しは、同水準と予想している。

—売上額(収入高)—

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

今期D I値の内訳を見ると、減少企業が61.9%、増加企業が11.9%で、D I値は-50.0ポイントであった。前期と比べ、上昇(+13.4ポイント)した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業がやや減るが(61.9%→59.6%)、売上増加と予想する企業が減る(11.9%→7.1%)ことから、D I値は低下するとみている。

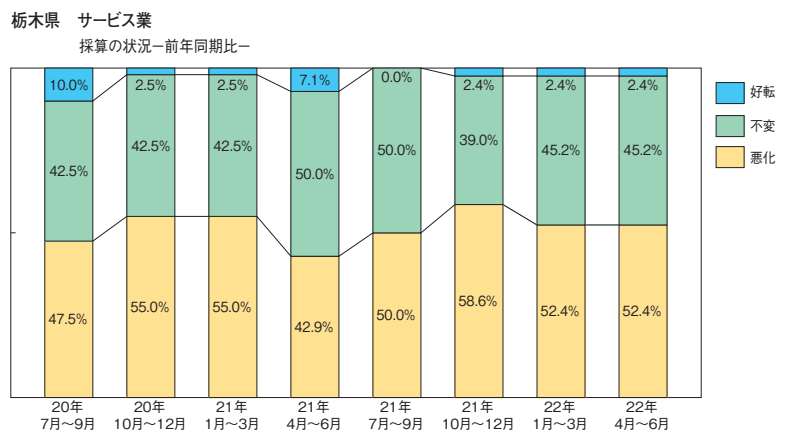


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

今期D I値の内訳を見ると、悪化企業が52.4%、好転企業が2.4%で、D I値は-50.0ポイントであった。前期と比べ、上昇(+6.2ポイント)した。

来期の見通しは、今期と同じ水準(D I値-50ポイント)である。

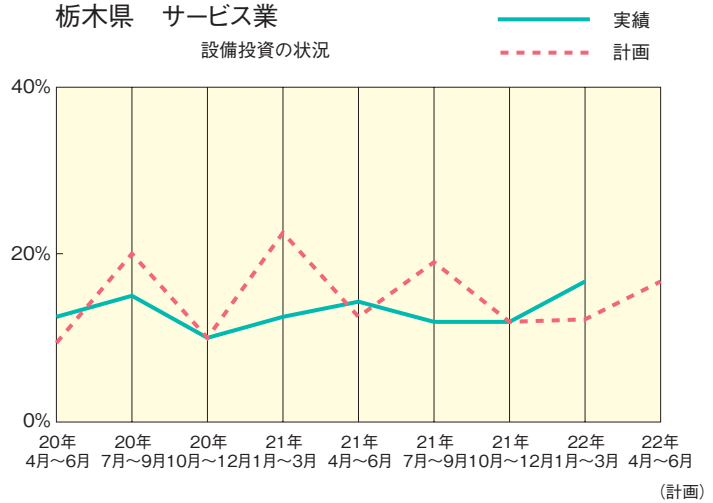


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図21

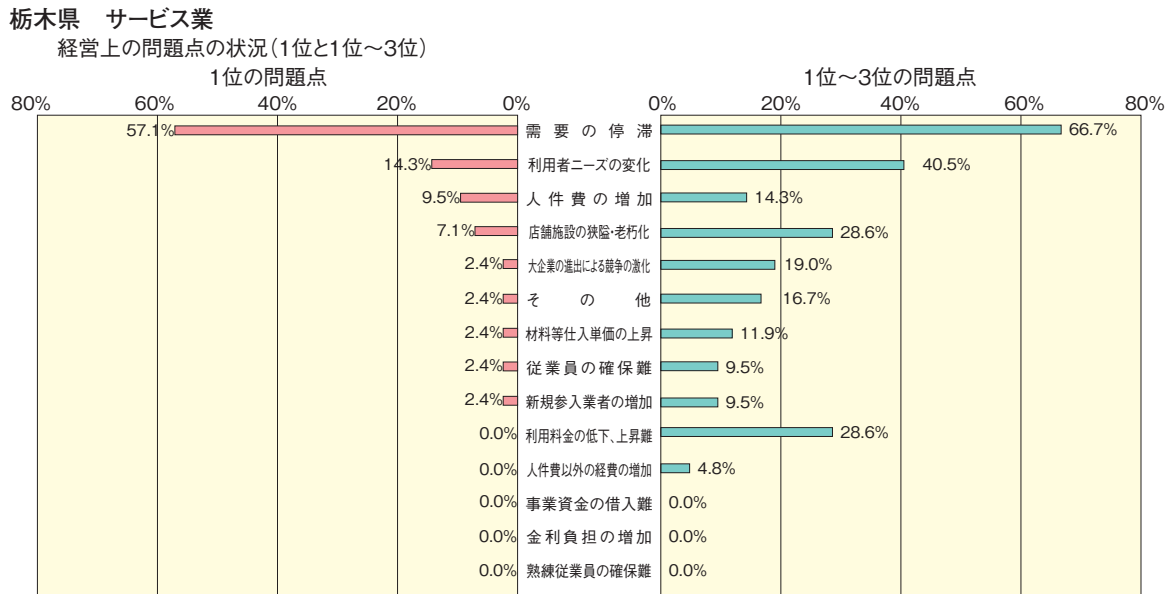
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合12.2%に対し、実績は16.7%であった。

来期に設備投資を計画している企業は16.7%である。



－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図22



1位～3位の問題点を見ると、「需要の停滞」が最も多く、1位の問題点を見てもトップに挙げら57.1%となっている。そのほか「利用者ニーズの変化」「利用料金の低下、上昇難」が上位に挙げられている。

【調査対象事業所の内容】

〈製造業〉

業種別内訳 34事業所

業種	事業所数	割合%
食料品製造業	5	14.7
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.9
繊維工業	1	2.9
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
木材・木製品製造業	2	5.9
家具・装備品製造業	1	2.9
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	0	0.0
化学工業	0	0.0
プラスチック製品製造業	4	11.8
窯業・土石製品製造業	2	5.9
金属製品製造業	6	17.6
一般機械器具製造業	1	2.9
電機機械器具製造業	4	11.8
輸送用機械器具製造業	4	11.8
精密機械器具製造業	1	2.9
その他の製造業	2	5.9

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	8	23.5
3人以下～5人以下	8	23.5
6人以下～10人以下	4	11.8
11人以下～20人以下	8	23.5
21人以下～50人以下	3	8.8
51人以下～100人以下	2	5.9
101人以上	1	2.9

〈建設業〉

業種別内訳 26事業所

業種	事業所数	割合%
総合工事業	14	53.8
職別工事業	7	26.9
設備工事業	5	19.2

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	8	30.8
3人以下～5人以下	9	34.6
6人以下～10人以下	4	15.4
11人以下～20人以下	5	19.2
21人以下～50人以下	0	0.0
51人以下～100人以下	0	0.0
101人以上	0	0.0

〈小売業〉

業種別内訳 48事業所

業種	事業所数	割合%
各種商品小売業	3	6.2
織物・衣服・身の回り品小売業	8	16.7
飲食料品小売業	20	41.7
自動車・自転車小売業	2	4.2
家具・建具・じゅう器小売業	2	4.2
その他小売業	13	27.1

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	44	91.7
3人以下～5人以下	3	6.2
6人以下～10人以下	1	2.1
11人以下～20人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0

〈サービス業〉

業種別内訳 42事業所

業種	事業所数	割合%
一般飲食業（一般・遊興）	14	33.3
宿泊業	4	9.5
運輸業	3	7.1
自動車整備業	5	11.9
洗濯・理美容業	11	26.2
その他サービス業	5	11.9

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	33	78.6
3人以下～5人以下	4	9.5
6人以下～10人以下	3	7.1
11人以下～20人以下	1	2.4
21人以上	1	2.4

第 1 2 3 回 中 小 企 業 景 況 調 査 報 告 書

平成 2 2 年 1 月 ~ 3 月 期 報 告

平成 2 2 年 4 月 ~ 6 月 期 予 想

平成 2 2 年 4 月 発 行

編 集 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 経 営 の 見 え る 課

発 行 所 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 栃 木 県 宇 都 宮 市 中 央 3 丁 目 1 番 4 号

TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875

印 刷 所 : (株) 松 井 ビ ・ テ ・ オ ・ 印 刷
